

## 自由記述「学校運営に参画する方法」

### 【学校（学校運営協議会）】

- 1年生からタブレットを支給されているのに活用できていない。タブレットを活用して学級の様子を配信する等学校に工夫してもらいたい。
- 入学説明会がなく、本年度の1年生は、学校の事をあまり保護者が理解できていない。（学校の事を理解してもらう必要がある）
- 学校行事等学校の営みをもっと積極的に広報すること。（もっと分かりやすく、もっとオープンに）
- ・学校だよりは「読みやすい」「楽しい」ものであってほしい。（学校運営というものをマイチ身近に感じられず愛着が湧きにくいと感じている。）
- ・毎月の学校だよりを楽しみにしているので引き続きお願いしたい。
- ・学校のお便りが「お知らせ」や「お願い」についての情報が多く、子どもの様子をもっと教えてほしい。
- ・学級ごとの情報発信がもう少しあると嬉しい。（年に数回は学級の様子をお知らせしてもらいたい。）
- ・動画配信アプリによる寄西小学校PR動画や授業風景の配信・定期的なオンライン交流会開催、HPの充実、SNS等による画像付き情報の配信等、ICT機器の効果的活用を検討する。
- ・学校の年間スケジュールをHPにアップしてほしい。

- 地域や保護者の方にもっと参加してもらうように努めること。（児童の学校へ行く楽しさ、礼儀の向上等の効果が期待できる。）
- ・学校から具体的に保護者が参画する内容を提示してもらえると意識や行動が活性化するように思う。
- ・懇談、家庭訪問、保護者会、PTA会合、授業参観、講演会等々、形態を工夫してどのような状況でも実施できる方法を模索してもらいたい。
- ・保護者は働いている人も多く、参加しやすい日時や形態での実施を可能な限り計画してほしい。
- ・以前行われていた地域講師による「尺八演奏」「寺西踊り」、地域に向かう「老人ホーム訪問」等の機会が失われている。（withコロナで本当に必要なのかという疑問もあるが..）
- ・学校の日常生活を期間を設けて積極的に開放する。（オープン掃除、オープン給食、学校へ行く週間 等）
- ・学校行事の運動会で地域対抗リレーだけでなく、児童全員が地域の一人として選手になれるような協議があっても良いのではないか。（地域の運動会は1部の人の参加傾向のため）

- スクールプランについての具体的な内容が実践されている具体例についてもっと紹介するのが望ましい。
- 経営理念の中で掲げている「通わせたくない」「来させて良かった」「学びたくなる」「学ばせてよかった」と思える学校がどんなものなのか子供、保護者にヒヤリングする。
- 地域や保護者と共同で行う行事（家庭キャンプ・災害スキル向上行事 等）を増やし、アンケート等で行事後の振り返りを行うこと。

- 保護者世代の考え方や捉え方を取り入れる組織づくりが必要である。（学校の考え方の古さが気になる。）
- アンケートについて「わかりません」と回答できるスタンスが大切だと思う。（保護者の学校教育に対する捉え方が明確になると思う。）
- 学校評価の際に疑問や意見を自由に記載できる欄を設けてほしい。（気になる意見には回答もほしい。）

- 目標設定を低く設定し、そこから責任を与えていく方が目的が明確になりやすいと感じた。
- ライン等を積極的に活用し、保護者との連絡・連携を取りやすくしてほしい。
- 参観日や懇談等は、子供の学校での様子を知るための関心の強い行事である。安易に中止するのではなく、クラスを分ける、出席番号で数人ずつに分ける等の工夫があっても良かったのではないかと。

- ・参観日のたびたびの中止で、学校に対して不満と不信感があり、民間企業のような様々な努力が全くなされていないように感じている。
- ・幼稚園では積極的に面談が行われており、学校が面談を中止することについて疑問を感じることがあった。
- ・1年生からまだ1度も授業の様子を見る機会が無く、参観日の良いタイミングで行うことに努めてほしい。
- 校舎が古く黒くになっているのが気になり塗装などの手立てが欲しい。（学校がきれいになることは子供のモチベーションに影響する。）（龍王小がきれいなため、子供はうらやましがっている。）

- 校内で、だれでも参加できるような文化教室等が行われ保護者や地域の人が出入りできる環境があれば、より一層学校や学校行事が身近なものになる。
- 三ツ城小学校のようにコミュニティハウスのような施設が校内にあると良い。
- コロナ禍で子供たちが「楽しい」と思える行事が減っている印象がある。子供の「楽しい」がより増える学校になることで、子供たちの意欲・好奇心・成長を高めることができると感じられる。
- 学校が、保護者や地域に対して望んでいることややってほしいことを遠慮なく伝えることが重要である。
- 学校に出入りする機会を多く持っているが、学校の対応が丁寧で良い印象を感じている。ベンチの作成や花の手入れなど学校環境面に力を入れていることも感じられる。
- 子供の楽しめる遊具等の整備はより積極的に進めてほしい。（ターザンロープの使用を願っている子供が多い。）
- 学校の出入りがしやすい工夫を進めてほしい。（学校の正面玄関に人感センサーの照明器を設置してほしい。）
- 小さなお子さんがおられる人も子供が一緒に来て大丈夫な環境があればもう少し積極的に参加する人が増えと思う。
- 学校の授業（教育課程）の中で、地域や保護者の方が参加できる内容を創出する。
- ・低学年参観日で図工作品を親子で仕上げた経験がある。高学年でも同様の事が実現できないか。（PTCを体育系で行い、授業の中で親子作品作りの機会を設ける 等）
- 子供たち同士の言動によるいじめがなくなるよう最大の努力をしてほしい。

### 【家庭】

- 本アンケートのように定期的に学校運営について改めて考える機会があると普段気になっていることを挙げやすく学校をより良くしようと意識するようになると思う。（今回のアンケートはコミュニティスクール制度を考えるきっかけになった。再度「寺西だより」を読み返した。）
- 元気で気持ちの良いあいさつを交わし合う。（登下校において、下を向いて歩いている子が多く、挨拶が少ない。）
- 学校の先生ともっとかかわりを持つ（話をする）機会を積極的に持とうとすることが大切。
- PTA役員とは別で、保護者にも何か役割や係のようなものを設け、学校運営に関わるような取組みをしなければ、なかなか意識は高まらないように思う。
- ・役員のように仕事が多いものは参加が大変であるが、簡単に参加できるような何かがあれば、学校運営に参画する意欲も達成感も持てるように感じられる。
- ・期間限定で参画できる内容も限られていれば、「やってみたい」という意欲も湧きやすい。
- ・共働き世帯でも参加しやすいよう配慮してほしい。（平日昼間の開催をなくす。無駄な行事はしない。）
- 保護者は、何か学校のために貢献したいという思いは持っていると思うが、具体的に何をして良いのかわからない。
- 1回、学級別で1日救家族半日学校体験を行い、親と子供の交流の場をつくる。
- あまり同学年のお友達のお母さん方と話す機会がないので、親子と一緒に参加でき、他のご家族と交流できるような機会があれば嬉しい。
- 未就学児を連れて危険な状態で旗振り当番することに納得いかない気持ちが出ている。（未就学児のいる家庭へ配慮してもらえると児童入学後積極的に参画しようとする気持ちになる。）
- 自分の子供にもっと関心を持つこと。子供としっかり向き合い話を聞くのが大切（家庭での会話→学校の様子や取組への興味→親子のイベントへの積極的参加）
- 親が子供の手本となるので、まずは率先して親が学校運営に参画し、よりより学校運営について語り続けることが大切。
- 学校に関わる部分が多くなりすぎている。子育ては親の責任であり、学校は学力を身に付けさせることに特化した取組を進めるべきである。
- 子供の言葉遣いが大変良くなる耳を覆いたくなる。各家庭においても、地域の中においてもその都度声掛けして改めさせたい。

### 【地域】

- 地域の行事にちょっとしたもので小学生と一緒にできるものがあれば、小学校を身近に感じられると思う。
- ・最初の行事のハードルを低くして、いろいろな立場の方が参加できるようにする。
- ・地域ぐるみでの避難訓練や運動会、祭りなどの行事を創出する。（コロナ禍以前に行われていた地域のお祭りは、地域と子供を繋ぐ有効なものであると感じている。）
- CSルーム等で、地域の方々に何かを教えてもらう機会ができれば、学校以外で地域と子供の関係をより良くする機会が生まれるのではないかと。（地域センターでの教室活動が学校でもできるようになるのが理想だが、土日開放の難しさがあるのだろうか。）
- PTC行事や寺西塾は、お手伝いで参加するのと主催者として参加するのでは隔たりが大きく、参画意識が高まりにくかった。主体的に参画できる仕組みづくりも必要。
- 地域の人に放課後学校に来てもらい、児童と触れ合う機会を設けてほしい。（寺西は転勤族が多く、地域との接点を持ちにくい傾向を感じている。）
- 地域の中学生や住民たちがボランティアで講師を務める等学習支援の機会を作る。（子供が小学校を卒業した後も関りを持てるような行事や仕組みがあればよい。）
- 登校時に列の乱れや道路にはみ出すお子さんがいるが、班長に指導責任を求めすぎでないか。当事者に声掛けしてもらえるとありがたい。

### 【その他】

- 食物アレルギーの対応について学校や市としての対応方針を明確にしてほしい。（アレルギー物質との向き合い方、エビペン所持の周知方法、給食指導 等）
- 学校というものが子供達の生きがいの一つになっており、様々な体験や人間関係、苦難等を乗り越えて強気心ができることを願う。
- 学校の先生方、地域の皆様、保護者の多くの方に「協力して子供の成長を見守ろう」という温かい心が強く感じられる。それによって、自分もだんだんとかかわりを持ちたくなってきた。自然に意識が変わるような今のままの在り方で十分素晴らしいと感じている。
- 学校や地域、保護者が連携していくためなどの仕組みについては分かりやすく保護者にお知らせしてあるように感じている。
- コロナ禍でもあるため、感染拡大を考慮して今のままで十分である。（行事は楽しみな反面、中止になったという知らせを聞いて安堵したことが多かった。）
- 「コミュニティ・スクール制度」を導入されたら便りに読んだが、よく理解できない。分かりやすい説明がほしい。
- 寺西小学校区には遊具のある公園がないので、未就学児を連れての公園遊びや図書室開放等を学校施設で行えば、学校へ行きやすくなる。
- 旗振り当番をしていて、子供たちの挨拶の無さが危機感を覚えている。（元気の良いあいさつをしてくれるのは20人に1人。したり返してくれるのが3人に1人くらい）
- 休みの日など、学校の運動場に入られないと、遊ぶ場所がなくなるため、お友達が勝手に家の中に入ってくるので困っている。（遊ぶ場所がほしい。）
- 通学路が狭くて交通量も多く危ないところが多い。（市役所にお願いしても改善されず、学校からも強く要望してほしい。）
- 児童の登下校の様子が大変危険に感じられる。（道路の左右を歩いている場面に遭遇することもある。）
- 学校運営に対する地域の要請や開示は、地域の協力者を得られ大変助かる反面、その情報により犯罪に巻き込まれないか不安を感じることもある。
- 小さな輪も大きな輪も同時に育まなければ早急に学校運営参画意識を高め行動化していくのが難しい。学校運営のクオリティを高めようとする学校の要求はありがたく感じるが、理想を実現するためには学校・保護者双方での確認作業が必要である。
- お休みの日や放課後の外トイレの電気消し忘れが多すぎる。税金で電気代が支払われていることを意識し、ペナルティを設ける等の措置も必要ではないかと。